

次期長野市観光振興計画 アクションプラン（案）の概要

観光振興専門分科会資料
平成28年4月28日

アクションプランとして現在検討している案の概要を示しています。今後も検討を進め、精査・追加していく予定です。

プラン名	背景	取り組み内容	事業例	成果指標
善光寺・中心市街地まち歩き観光推進プロジェクト（案）	<ul style="list-style-type: none"> 善光寺には毎年600万人以上の観光客が訪れている。しかし、多くの観光客は善光寺をお参りしたら市外へと移動している。 原因としてはまちなかを楽しめるコンテンツが少ない、または一部あるものの情報発信や見せ方が不十分であると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参拝後善光寺界隈及びまちなかを歩いて巡ってもらうために、事業者、行政関係部署、関係団体が連携することで単体では提供できないまちの楽しみ方を提案することで、観光消費を促す。 ターゲットを意識したコンテンツ開発（中高年、歴史好き、女子旅等） まち歩きマップの作成などにより取り組んでいく。 日本遺産認定に向けた善光寺、戸隠などを結びつけるストーリーを活かしたコンテンツ開発 	<ul style="list-style-type: none"> まちなかを楽しむための情報発信 ⇒各種マップづくり（カフェめぐり、裏通り巡り、リノバツアー等） ⇒小路の看板整備等 まちなかスポーツツーリズムの検討 ⇒アウェイサポーターに中心市街地を楽しんでもらう仕組みづくり。必勝祈願（善光寺及び七福神巡り）、勝負飯の開発 その他観光コンテンツ開発 ⇒お朝事朝がゆセット、御朱印帳ツアー、宿坊ツアー（戸隠との連携）等 	<p>善光寺界隈滞在時間 5年後目標</p> <p>現 状：1時間36分 目 標：2時間30分</p> <p>（GPS調査による）</p>
上質な観光地戸隠、飯綱「滞在型」プロジェクト（案）	<ul style="list-style-type: none"> 戸隠地区は神秘的な魅力から近年ではパワースポットとしても一定のブランドを築いている。 飯綱地区は市街地から近い高原リゾートとしての特長があるが、単体での誘客が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸隠地区と飯綱地区の雰囲気や環境にあった、宿泊を伴うゆっくり滞在する観光スタイルへとシフトさせていく必要がある。取り組みとしては、宿泊しないと味わえない観光コンテンツや体験を開発し、提供していく。 戸隠スキー場、飯綱高原スキー場やグリーンシーズンのキャンプ場を地域と結び付けた効果的なコンテンツ作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸隠、飯綱ならではの観光コンテンツの発掘・磨き上げ ⇒日常の中には、他地域にはない非日常がある。両地区ならではの観光コンテンツづくりを行う。特に、宿泊を促す「朝」と「夜」の観光コンテンツを強化する 人気が高い「戸隠五社巡り」のPR強化、及び飲食店等との連携をはかり、消費額増加を目指す 戸隠の伝統的建造物保存地区を活用して観光誘客につなげる。 各スキー場やキャンプ場を活用した観光コンテンツを地域と事業者とも連携して開発 	<p>戸隠、飯綱地区宿泊者数 5年後目標</p> <p>現 状：448,600人（H26） 目 標：</p>
歴史マニアでなくとも松代を楽しめる「真田家」を核とした目玉ルート作成プロジェクト（案）	<ul style="list-style-type: none"> 松代地域には多種多様な観光コンテンツがあり、それらを活用した多くのまち歩きコースが作られている。 しかし、歴史好きではない方でも分かりやすい目玉となるルートが市場には伝わり切れておらず、豊富な資源を活用できていないのが現状である。 特に「食」が弱いため、効果的に消費につなげない。 	<ul style="list-style-type: none"> 松代初心者でも楽しめる訴求力のあるルートを作り、PRする。 今回の大河ドラマ「真田丸」を契機に全国的にも知名度がある「真田家」を核とした万人に分かりやすいルートを作り、情報発信を進めていく。その中では、食やお菓子等の店舗をルートに取り入れ、消費につなげる。 松代荘と地元観光コンテンツと連携したまち歩きプラン、宿泊プラン等の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 「真田家」を核とした、歴史好きでなくても楽しめる松代観光の目玉ルートづくり ⇒気軽に楽しめるルート作り。食や体験型プログラムとの連携を図る。 「真田家」の歴史に関連した、気軽に楽しめる「食」や「体験型プログラム」「グッズ」づくり ⇒長いもなどの地元食材や松代焼等を活かした、松代らしい食の強化（大地のたまごと、とろろご飯など） ⇒気軽にできる体験型プログラムなど ⇒松代荘を活用したルートの開発 まち歩きルート、観光コンテンツの情報発信強化⇒松代のロゴ、フォント、イメージカラー等の統一 	<p>松代地区滞在時間 5年後目標</p> <p>現 状：2時間8分 目 標：2時間30分</p> <p>（GPS調査による）</p>
広域連携推進プロジェクト（案）	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線延伸や、訪日外国人観光客増加に伴い、広域的に周遊する旅行者が増えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸方面や県内他市町村との連携を強化し、多様なルートでの誘客を図る。 広域連携を図っていく中で、連携先と観光コンテンツやルートの開発を行い、プロモーションしていく。合わせて交通事業者などとも連携し、周遊ルートの提案をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 金沢市などの北陸新幹線沿線都市と連携し、広域周遊ルートを開発しプロモーションを実施。 現在金沢市とインバウンドの招聘事業を実施しているものを、軽井沢等の他自治体も加え、効果的な誘客を目指す。 県内連携中枢都市圏構想関係市町村と連携し受入対策研修会や周遊ルートの構築、プロモーションを実施 	<p>外国人宿泊者数（年間） 5年後目標</p> <p>現 状：51,713人 目 標：75,000人</p>